修理に伴う現状変更箇所について（主として建具の復元について）

**●修復事業における建具の復元・整備について**

資料３

**基本的な考え方**

　・公開範囲については，原則として大正１４年時点の姿への復原を目指す。

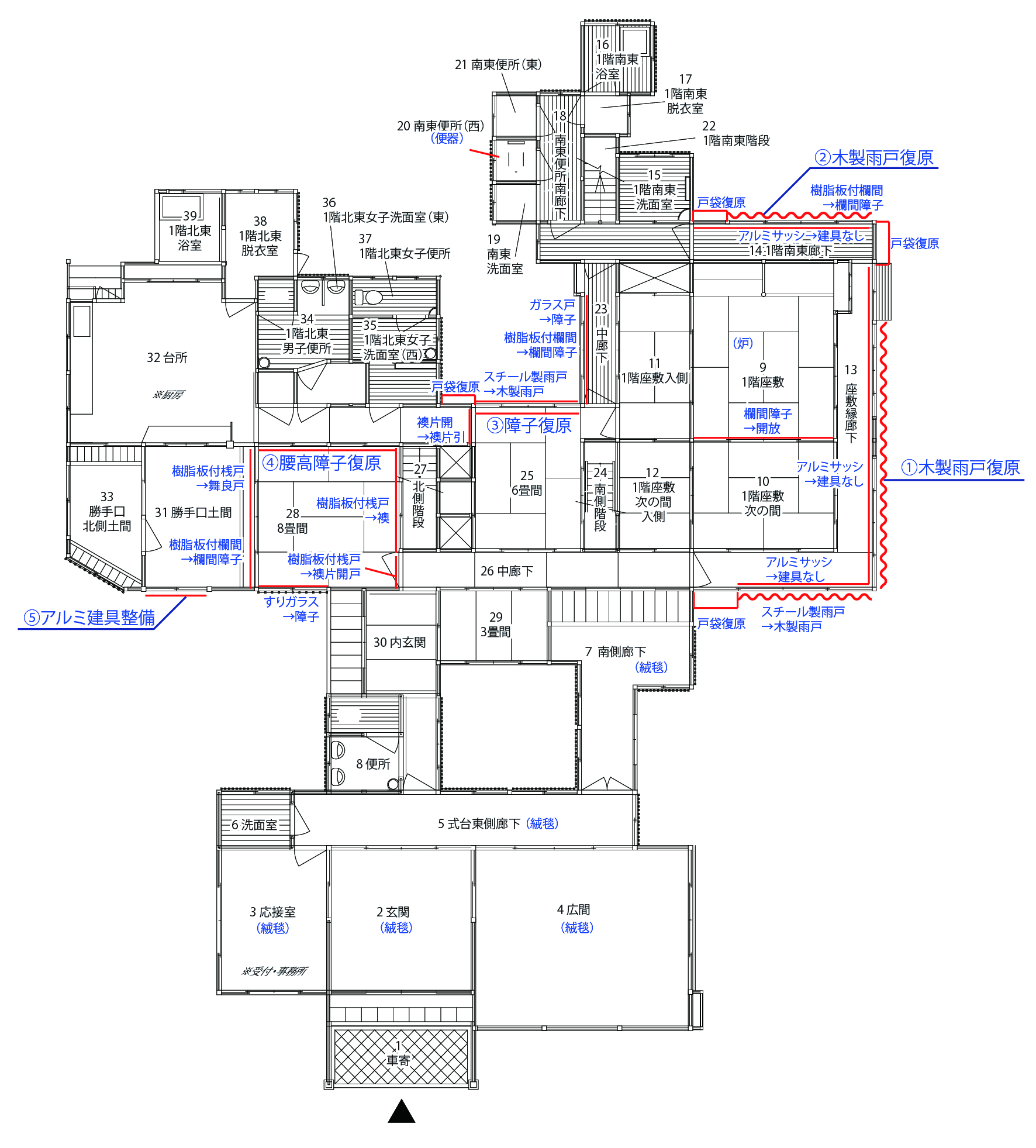
　・非公開範囲（バックヤード）については，活用を考慮した整備を行う。

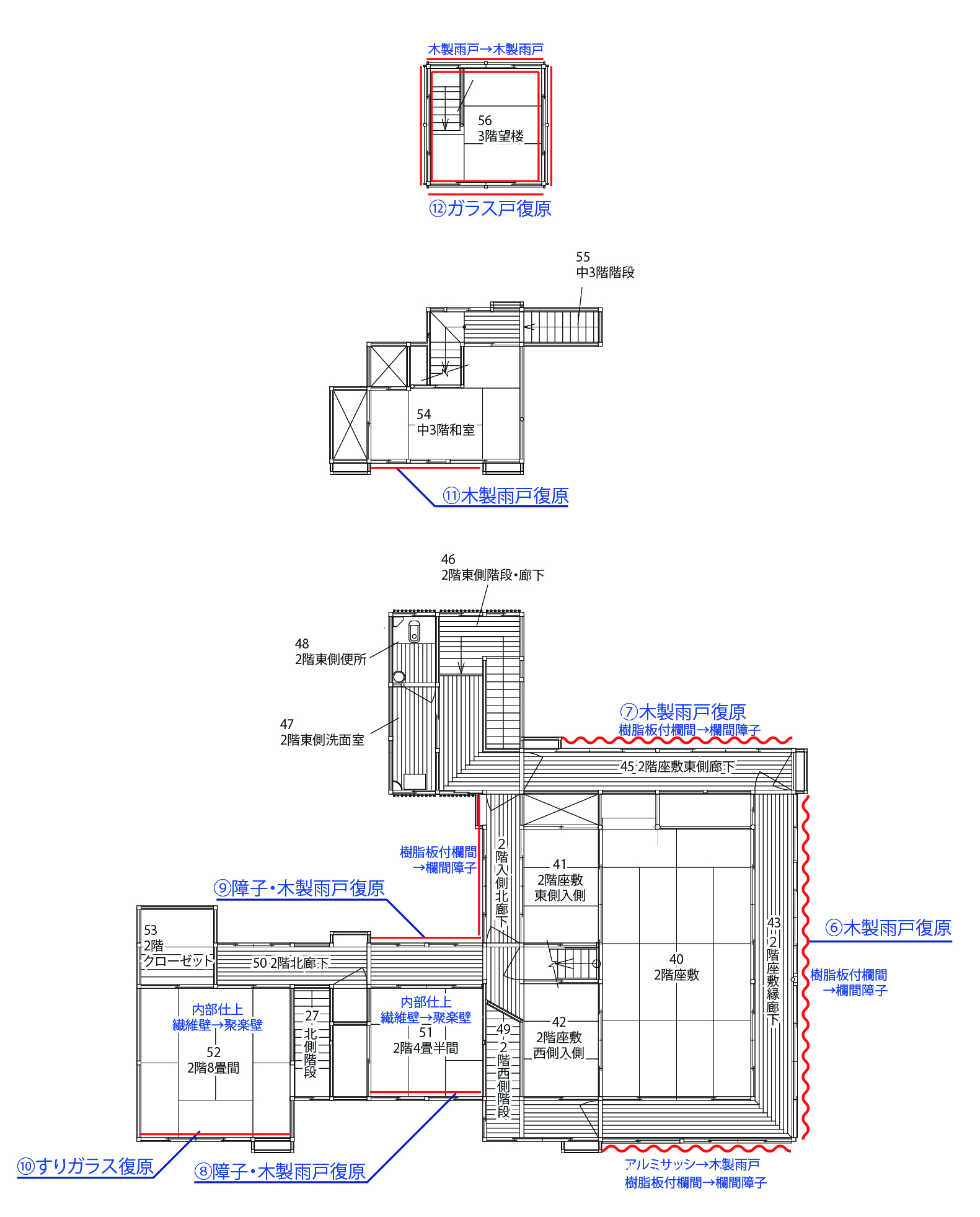
**主な変更箇所：南面　雨戸の復原について（一階二階共通）**

　・主屋と庭園との一体性を保つため，従来のアルミサッシを除去し，当初仕様である木製建具へ復原する。

　・激しい降雨時には雨戸を閉じる必要が生じることが想定される。雨戸を閉めた際にも，座敷内部の採光を確保し，庭園への眺望が可能なように，木製建具の一部にガラスまたは透明板の窓を設けることを検討する。

　　（（別紙図参照）



****